

令和8年熊本地震への経済産業省の対応（8月13日（木）時点）

※下線部は前回からの更新箇所

1. エネルギー・インフラの状況

状況

電力

熊本県で約4.9万戸の停電が発生。高圧線に加え低圧線も停電は復旧済み。
引込線を原因とする停電は、連絡いただき次第、原則当日の解消を目指す。（九州電力送配電が24時間体制の相談窓口を設置。九州電力送配電及び電気工事業者が連携して対応する体制を構築。）相談窓口について、避難所での周知を実施するとともに、順次、状況を確認し各戸に掲示・投函。

発電所

火力発電所※1・原子力発電所※2ともに、運転継続中。 ※1：九電・電源開発保有の発電所、※2：川内①②号機・玄海④号機

都市ガス

八代市^{やつしろし}で約8,900戸供給停止のうち、約8,100戸で供給再開済。
順次供給再開を進め、家屋倒壊を除き、今週中には概ね復旧する見通し。
事業者にて、希望されるご家庭にはカセットコンロを配布。

SS (ガソリンスタンド)

営業中68（被害の大きかった八代市^{やつしろし}・宇城市^{うきし}・氷川町^{ひかわちょう}のガソリンスタンド73か所の9割超。）復旧見込み：①8/15頃まで2か所、②数か月以上3か所
上記の他、震度6弱以上を記録した13市町村（熊本市、合志市、上天草市、宇土市等 計250か所）については、営業中249、営業不可1
八代市の出荷基地を活用するなど、通常時の最大4倍程度の供給力を確保。

2. 物資支援

- 被害の大きかった八代市^{やつしろし}・宇城市^{うきし}・宇土市^{うとし}・氷川町^{ひかわちょう}で9割以上のコンビニ（98店舗/100店舗）が営業。当該4市町等の被災地域の物量改善に向け、優先的な迂回ルート等をコンビニ各社に伝達し、活用開始。県内全体787店舗中、休業店舗数は、29日(水)時点:211店舗 ⇒13日(木):4店舗(前日同)。
- 業務用エアコンは13か所要請、うち12か所で設置済、さらに1か所で設置中。循環型シャワー(WOTA)は95台設置済。
仮設・簡易トイレや段ボールベッド、熱中症対策用品、衛生用品、ブルーシート等も順次熊本の物流拠点に到着。大手物流会社による配送支援もトラック最大28台まで拡充。

3. 中小企業・小規模事業者への支援

- 災害救助法の適用に伴い資金繰り支援（※）、相談窓口（20か所）設置済。
※ ①災害復旧貸付等の実施、②セーフティネット保証4号（100%保証）の適用、③既往債務の返済条件緩和等の対応、④小規模企業共済災害貸付の適用
- 中小企業分野の局地激甚災害の指定（熊本県八代市^{やつしろし}（8/12公表）、御船町^{みふねまち}（8/7公表））について局激見込み公表。8/7(金)に1800業界団体及び国・自治体の長に中小受託事業者との取引への配慮要請済。
- 局激指定見込みを踏まえ、「自治体連携型補助金」を通じて熊本県が実施する県内全域の中小・小規模事業者向けの復旧支援事業に、なりわい再建支援補助金と同等の高い補助率の支援が可能。補助対象事業者の範囲や多重被災事業者への支援については関係省庁と検討。
- 局激指定地域では「災害復旧貸付」の金利をさらに引き下げ（1,000万円まで▲0.9%）、「セーフティネット保証4号」とはさらに別枠の100%保証も実施。

4. サプライチェーンの状況

- 一部の半導体関連工場では、設備等の確認・点検のため操業を停止していたが、TSMC熊本や三菱電機、ルネサスなど、稼働を再開している工場も増加。
- 一部の自動車部品工場において、設備等に被害が発生し操業を停止していたが、アイシン九州は8/2から一部部品の生産を再開。
一部の完成車メーカー（OEM）では、部品メーカーの被害状況の確認等を優先し、生産を一部停止（8/8～8/16自動車メーカーはお盆休みのため非稼働）。

※ 13日(木)時点で、経産省本省8名・経産局10名・産業保安監督部4名、合計22名を熊本県庁・市町の現場へ派遣。

国土交通省(現地対策本部)からの報告

■インフラ復旧 OTEC-FORCEの活動

- ・全国から国土交通省TEC-FORCEが集結し、被災状況調査や、給水・トイレ及び電源支援等の災害対策機械による応急対策の技術支援を実施。
- ・令和8年8月13日は、宇土市、氷川町など3市3町において約110人が給水支援や被災状況調査などの活動を実施中。
- ・令和8年7月28日の被災直後から、これまで6市4町を中心に、のべ約3,400人・日で活動を展開(リエゾン等含む)

被災状況調査

▼ヘリによる上空からの被災状況調査及び映像の提供



宇城市



宇城市



氷川町

▼岸壁背後の被災状況調査



八代港

▼ドローンによる被災状況調査



甲佐町

▼TEC-FORCE出発式(8/12)



宇土市

- ・被災状況調査(河川)
- ・給水支援

▼調査報告書の手交、説明(8/10)



宇土市

- ・被災状況調査(河川・道路)
- ・給水支援
- ・船舶による支援物資輸送及び給水・入浴・洗濯支援(三角港)

- ・被災状況調査(河川)
- ・給水支援、電源支援

天草市

上天草市

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

八代市

美里町

氷川町

宇城市

甲佐町

○インフラ施設の復旧(河川、道路、港湾、上下水道など)

(1)道路

・高速道路

(E3九州道)

- ・松橋IC～えびのIC間は、一般車両通行不可
- ・ただし、8月11日9時から八代IC～坂本PA間も含め、E3九州道全線で緊急車両の通行可能。
- ・さらに、8月後半にはE3九州道全線で一般車両の通行が可能となる見込み。

(E3A南九州道) ※NEXCO管理: 八代JCT～日奈久IC、国管理: 日奈久IC～田浦IC

- ・八代JCT～田浦IC間は、一般車両通行不可
- ・ただし、八代南IC～田浦IC間は、緊急車両のみ通行可能
- ・また、8月後半には八代南IC～田浦IC間で一般車両の通行が可能となる見込み。

・直轄国道(直轄高速除く)

- ・被災による通行止め: なし

(2)河川

- ・国管理河川では点検が完了し、3水系 8河川※91箇所です堤防天端のクラックなどの被害を確認。
- ・堤防の沈下や亀裂、はらみ出し等が生じた球磨川の堤防3箇所です緊急災害復旧工事に着手。比較的損傷が軽微な88箇所(白川3箇所、緑川44箇所、球磨川41箇所)も順次応急復旧工事に着手。
- ・8月7日を以て、対象全91箇所について、応急復旧完了。

(3)港湾

- ・八代港では、地震動による岸壁の変位及び液状化による噴砂や、沈下等が発生。
- ・耐震強化岸壁については7月29日に応急復旧を行い、コンテナ岸壁は7月30日に港湾空港技術研究所等の調査官の助言を得て利用可能と判断。その後も現地調査結果を踏まえた利用可否判断を順次行い、現在、八代港外港地区は5バース、内港地区は4バースの利用が可能。
- ・各利用可能な岸壁に、海上保安庁や海上自衛隊、港湾局等の船舶が支援物資の輸送、給水、入浴等の支援を実施。8月12日からは、外港地区の穀物バースにおいて、穀物運搬船の利用を再開。
- ・八代港の港湾機能の早期復旧に向けて、8月12日に有識者や関係団体等で構成する「八代港被災施設復旧技術検討委員会」を設置。

国土交通省(現地対策本部)からの報告

○インフラ施設の復旧(河川、道路、港湾、上下水道など)

(4) 上下水道

- ・8月末の断水解消に向け、上下水道の応急復旧に全力で取り組む。
- ・毎日10時時点で応急復旧状況を更新(国交省HP)

※避難所、医療機関、福祉施設等の重要施設につながる管路については、上下水道一体で優先的に復旧を図る

水道

- ・発災後、最大約108,000戸が断水する状況。
- ・国土交通省及び日本水道協会より水道技術者を全国から派遣し、点検・応急復旧作業を実施中。

8/13 7:30時点、断水戸数は約28,400戸

(八代市、宇城市、氷川町)

- ・今後の復旧の見込みは以下の通り

※記載地域以外の断水は解消。

市町村	地区	断水解消見込み※
八代市	旧八代市地区	8月末
	鏡町・千丁町	8月末
宇城市	松橋地区	解消
	小川地区	8月末
	豊野地区	8月末
氷川町	迫地区・中大野地区・本山地区・原田地区・桜ヶ丘地区・立神地区	解消
	その他の地区	8月末

下水道

- ・国土交通省、全国の自治体※、日本下水道事業団より下水道技術者を派遣し、点検・応急復旧作業を実施。

※日本下水道協会の全国の相互支援ルールに基づき派遣

- ・現在、点検はすべて完了し、氷川町において応急復旧作業を実施中。
- ・8/13 13:00時点、作業完了の見込みは以下の通り。
- ・なお、応急復旧作業中の地区においても下水道は使用可能。

市町村	地区	作業完了見込み
宇城市	旧小川町	8月中旬
氷川町	旧竜北町	8月中旬
	旧宮原町	完了

※八代市、宇城市、氷川町の一部地域において通水済みであるが、漏水調査に必要な水量・水圧の確保のため、使用自粛を要請中

○道路交通マネジメント

- ・ 災害発生時における道路交通の確保と円滑な交通マネジメントの実現のため、関係機関が連携し九州地方整備局が中心となり「熊本県災害時交通マネジメント検討会(令和8年熊本地震)」の第4回会合を8月7日に開催し、「お盆期間中の交通混雑緩和のためのご協力のお願い」を発表
- ・ 8月3日午前7時までに八代鏡宇土線(県道14号)の倒壊建築物の撤去が完了し、同時に国道3号(宇城・八代地域)の迂回路として、交通集中の分散を実施。(迂回路看板により誘導)
- ・ 8月8日朝、国道3号(氷川町大野～八代市岡町中)で8月4日から実施していた『ピンポイント路面改善作戦』が完了
同施工区間において走行性を改善。
- ・ 引き続き、追加12箇所(宇城市松橋町久具～八代市高下西町)の舗装補修工事を8月10日夜間より実施しており、これまでに9箇所が完了。
- ・ 道路の復旧見通しに関する現地PR(道路復旧見える化プロジェクト)看板を21箇所67枚設置。
- ・ 渋滞対策として、引き続き、道路規制情報、渋滞情報等について、道路情報板、各機関HP、SNS等により提供
- ・ 特に、八代市周辺の交通状況については以下のHPで毎日更新(国土交通省道路局HP)

https://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000201.html



※平均旅行速度はETC2.0データを活用
出典:地理院地図上に加工して作成

図 令和7年8月12日～17日の平均旅行速度

国土交通省(現地対策本部)からの報告

国道3号渋滞対策・路面修繕

8/13(木)時点

- ①路面修繕：主要3箇所完了、その他12箇所実施中(8/10夜間～5日間)：9箇所完了
- ②青信号の調整：4箇所(2箇所完了、2箇所試行運用中(8/7～))
- ③交差点改良：大野交差点右折レーン延伸完了(8/7朝完了)
- ④横江大橋の8月中旬一般開放後に、県道338号を迂回ルートに設定予定
- ⑤道路の復旧見通しに関する現地PR(道路復旧見える化プロジェクト)看板 21箇所67枚設置(8/13現在)

■国道3号ピーク時所要時間推移(松橋IC～八代市内)



県道338号 横江大橋

・8月中旬一般車両通行可能

【予定】8/10夜間一般車両通行可能

橋脚補修

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め

通行止め



- ・国道3号の走行性のさらなる改善を目指して、8月10日夜間から追加で12箇所の舗装補修工事を5夜連続で実施
 (『ピンポイント路面改善作戦』《第2弾》)
- ・8月13日時点で12箇所中9箇所が完了。



※熊本河川国道事務所Xより

凡例

- 国道3号
- 迂回路(県道14号、42号、181号等)
- 迂回路設定予定(県道338号)
- 主要3箇所ピンポイント路面修繕工事
- 路面修繕追加箇所
- 青信号時間調整箇所
- 交差点改良箇所
- 災害ゴミ仮置場
- 物資輸送拠点

■被災者支援

○応急給水

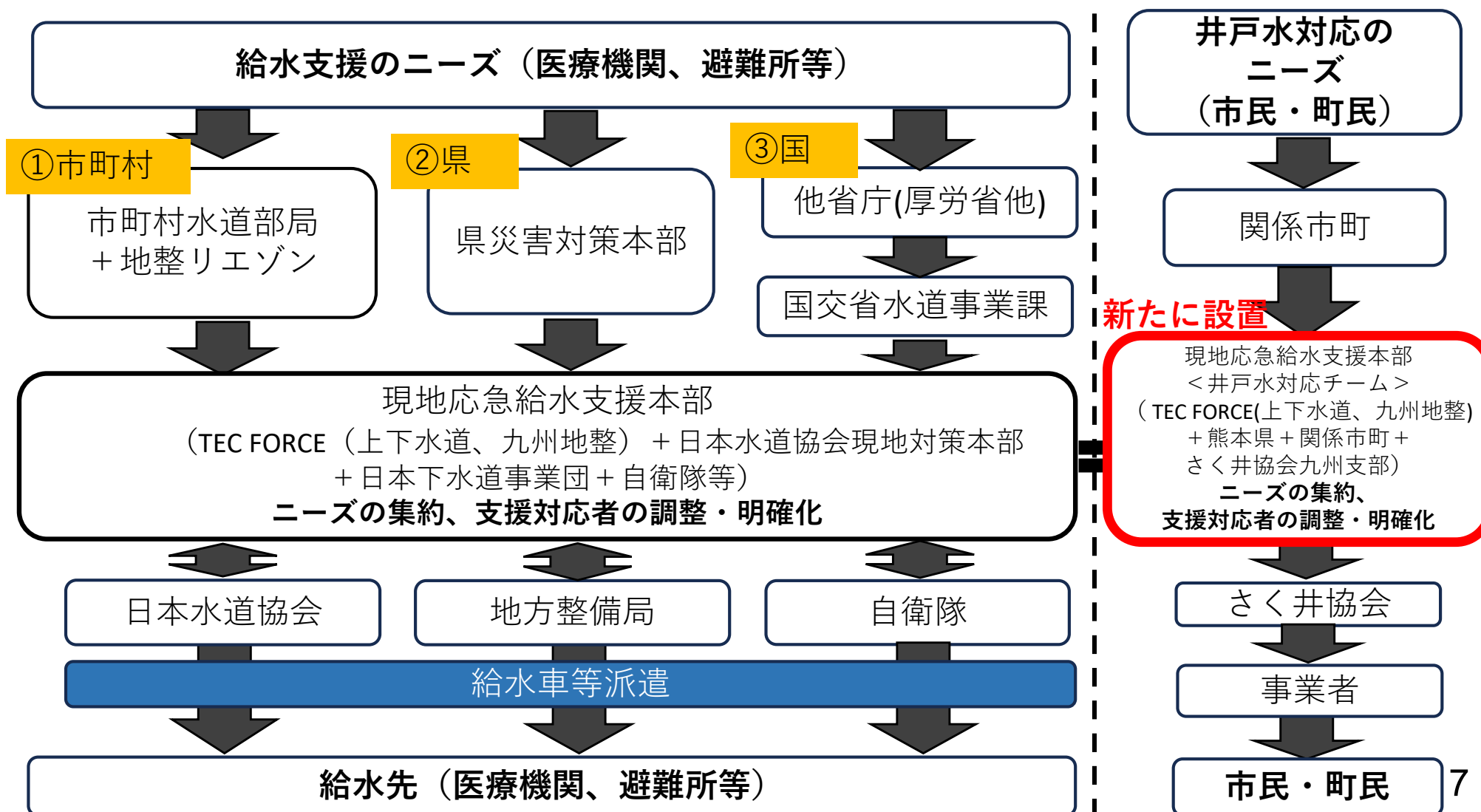
- ・「現地応急給水支援本部」において、国土交通省の現地派遣職員が日本水道協会と連携し、自衛隊等による給水活動とも調整しながら、避難所・医療機関・福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を実施
- ・給水車 合計171台(国 17台、日本水道協会 104台、自衛隊 50台)
- ・水資源機構が保有する可搬式浄水装置を設置し、氷川町において8/9より入浴施設への給水に活用



- ・水道が通っておらず井戸水で生活されていて、井戸が被災した方々を支援するため、現地応急給水支援本部の下に、11日「井戸水対応チーム」を新たに設置し、井戸水洗浄等のための業者派遣やニーズ調査の調整

井戸水対応チームの設置について

- 水道の通っておらず井戸水で生活されていて、井戸が被災した方々を支援するため、現地応急給水支援本部の下に、8月11日「井戸水対応チーム」を新たに設置し、井戸水洗浄等のための業者派遣を調整。



■被災者支援

○船舶等による直接的な給水スポットとしての活動

- ・地方整備局・海上保安庁の船舶による給水・入浴支援の場所・時間等が一目で分かるよう、SNSを活用した情報発信を実施中(毎日更新)。
- ・八代港において、昨日8/12(水)までに約577トン、本日8/13(木)に約8.79トン(12:00時点)の給水支援を実施。
- ・三角港において、昨日8/12(水)までに約370トン、本日8/13(木)に約0.02トンを給水(12:00時点)の給水支援を実施。

○入浴支援

- ・八代港において、8/1(土)から計2,174名への入浴支援を実施。
- ・三角港において、7/30(木)から計691名への入浴支援を実施。



給水支援の様子

(調査観測兼清掃船「海輝」・「海煌」、八代港)



入浴支援の様子

(巡視船「いわみ」、三角港)



■被災者支援

○緊急物資輸送

2次輸送(県→市町村の拠点輸送)は県トラック協会が輸送を手配中。3次輸送(市町村→避難所等)については各自治体が運送事業者のサポートも得ながら対応中。

○緊急物資輸送(雨漏り対策支援)

(一社)日本建設業連合会等を通じて、土嚢袋約20万袋を配布済(宇土市・美里町・菊陽町・山都町・八代市・氷川町・上天草市)。

あわせて、ブルーシートについては九州地方整備局と日本建設業連合会九州支社との災害協定に基づき、県・各市町へ累計約19,000枚を配布。



宇城市ブルーシート配送完了(R8.8.5)



宇土市ブルーシート配布状況

○住宅

- ・(独)都市再生機構において、被災者向けの住宅提供として、UR賃貸住宅を全国で140戸確保。8月7日より受付開始。

- ・被災者の住まいの確保に関する情報をとりまとめ、8月7日より国土交通省HPに掲載

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000188.html

(公営住宅等の提供、賃貸型応急住宅の提供、(独)住宅金融支援機構による災害復興住宅融資等、被災住宅の補修等に関する相談窓口、住宅リフォーム事業者等に関する情報)

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

令和8年熊本地震に係る災害派遣について（令和8年8月12日活動実績）

令和8年8月13日
防衛省

概要

- 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。
- 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。
- 昨日（12日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約5,100名態勢で活動。

昨日 （12日） の 自衛隊の 主な活動

【主な活動部隊等】

陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）、陸自第4後方支援連隊（福岡・福岡）、陸自第8特殊武器防護隊（北熊本・熊本）、陸自西部方面後方支援隊（目達原・佐賀）、海自艦艇2隻（げんかい、うらが）、空自第5航空団（新田原・宮崎）、空自西部航空施設隊（芦屋・福岡）、空自西部航空警戒管制団（高畑山・宮崎）等

【輸送活動】

- 陸自第8後方支援連隊により米軍からの救援物資を「はくおうⅡ」、「げんかい」に輸送。

【給水支援活動】

- 八代市や宇城市をはじめとする4個市町の計12箇所において、給水車23両により、引き続き給水支援活動を実施。

【入浴支援】

＜熊本市（1か所）＞

- 陸自第8後方支援連隊
・火の君文化センターにて陸自がシャワーによる入浴支援を、午後6時から午後10時まで実施。

＜宇城市（2箇所）＞

- 海自多用途支援艦「げんかい」
・三角港緑地公園の「げんかい」内にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後3時から午後10時まで実施。「げんかい」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。

- 陸自第8後方支援連隊、第4後方支援連隊

- ・小川防災拠点センターにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後11時まで実施。

＜八代市（2箇所 ※「はくおうⅡ」含む）＞

- 海自掃海母艦「うらが」、海自佐世保入浴支援隊、横須賀入浴支援隊

- ・八代港岸壁及び「うらが」内にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後3時から午後10時まで実施。「うらが」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。キッズスペース設置済み。

＜氷川町（1箇所）＞

- 空自第5航空団、空自西部航空施設隊等

- ・氷川中学校にて、水再生型シャワーによる入浴支援を、午後2時から午後10時まで実施。（男性：1600～1800、2100～2200、女性：1400～1600、1800～2100）

＜宇土市（1箇所）＞

- 陸自第8後方支援連隊、西部方面後方支援隊

- ・宇土アリーナにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後10時まで実施。

【PFI船舶「はくおうⅡ」による生活支援】

- PFI船舶「はくおうⅡ」、PFI船舶支援隊（陸自第32普通科連隊を基幹）

- ・八代港に停泊している「はくおうⅡ」内で、入浴支援等の提供を午前10時から正午、午後5時から午後7時まで実施。

【連絡員の派遣状況】

- 熊本県庁等に、最大4箇所・延べ約14名派遣。

活動の様子（8月12日）



【八代市】米軍からの救援物資（水）を「はくおうⅡ」に運び込む陸自隊員 ※8/11撮影



【八代市】「はくおうⅡ」での入浴支援



【八代市】陸自による給水支援



【八代市】「うらが」での入浴支援 ※8/11撮影



【氷川町】空自による入浴支援



【熊本市】空調服で暑熱対策を行いながら活動する隊員

P F I 船舶「はくおうⅡ」の八代港における干満差への対応

- 八代港では、干満差によりP F I 船舶「はくおうⅡ」への乗下船可能な時間帯が制限
- このため、岸壁における緩衝物の設置作業を実施し、乗下船時間の制約を大幅に解消

